

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
自然環境保全基礎調査（植生調査）	1973	2023	環境省	生物多様性センター	調査科	1/2.5万植生図、現存植生図、植生自然度、組成調査、優占種調査、環境省統一凡例、ALOS、エネ特、再生可能エネルギー、環境アセスメント	https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html
自然環境保全基礎調査（巨樹・巨木調査）	1988	-	環境省	生物多様性センター	調査科	巨樹・巨木林、幹周、計測調査、情報更新、市民参加型調査	https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html https://kyoju.biodic.go.jp/
自然環境保全基礎調査（昆虫類）	2022	2026	環境省	生物多様性センター	調査科	昆虫類、生息分布、希少種、外来種、普通種	
自然環境保全基礎調査（淡水魚類）	2022	2025	環境省	生物多様性センター	調査科	淡水魚類、生息分布、希少種、外来種、普通種	
国際連携による地球規模生物多様性モニタリング体制の構築支援	2009	-	環境省	生物多様性センター	調査科	国際連携、人材育成、生物多様性インベントリ、生物分類学キャパシティ・ビルディング、ワシントン条約附属書掲載種の識別研修	https://www.biodic.go.jp/international_top/index-j.html
いきものログ	2013	-	環境省	生物多様性センター	調査科	生物多様性、市民参加型生きもの調査、ほ乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、植物、レッドリスト、レッドデータブック	https://ikilog.biodic.go.jp/
しおかぜ自然環境調査	2014	-	環境省	生物多様性センター	調査科	生物多様性、市民参加型生きもの調査、ほ乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、昆虫、植物、東北地方太平洋沖地震、津波、復興	https://ikilog.biodic.go.jp/investigation?invReq=detail&eventremarks_id=56
ガンカモ類の生息調査	1970	-	環境省	生物多様性センター	調査科	ガンカモ類、個体数調査、越冬期、冬季、渡来地、渡来数、生息状況、全都道府県	https://www.biodic.go.jp/gankamo/gankamo_top.html
鳥類標識調査	1971 (環境省事業として)	-	環境省	生物多様性センター	調査科	鳥類、標識調査、バンディング、再捕獲、鳥類観測ステーション、金属足環、鳥類アトラス	https://www.biodic.go.jp/banding/index.html
モニタリングサイト1000ガンカモ類調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	湖沼、ガンカモ類、個体数調査、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000シギ・チドリ類調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	干潟、シギ・チドリ類、個体数調査、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000海鳥調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	小島嶼、海洋、海鳥、個体数調査、繁殖数調査、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000森林・草原調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	森林、草原、樹木、毎木調査、リター、地表徘徊性甲虫、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000陸生鳥類調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	森林、草原、陸生鳥類、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000里地調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	里地里山、植物相、鳥類、ほ乳類、水環境、カヤネズミ、ホタル、カエル、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000陸水域調査	2007	-	環境省	生物多様性センター	保全科	陸水域、湖沼、湿原、抽水植物、沈水植物、浮葉植物、魚類、底生生物、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000沿岸域調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	沿岸域、磯、干潟、アマモ場、藻場、底生生物、海藻、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000サンゴ礁調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	沿岸域、サンゴ礁、オニヒトデ、白化、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000ウミガメ調査	2004	-	環境省	生物多様性センター	保全科	砂浜、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイ、上陸回数調査、産卵回数調査、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
モニタリングサイト1000高山帯調査	2008	-	環境省	生物多様性センター	保全科	高山、風衝地群落、雪田群落、ハイマツ、高山蝶、モニタリング	https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html
環境DNA分析技術を用いた淡水魚類調査手法の標準化・一般化	2018	-	環境省	生物多様性センター	調査科	環境DNA分析、網羅的解析、淡水魚類、希少種、絶滅危惧種	https://www.biodic.go.jp/edna/edna_top.html
環境DNA分析技術を用いた両生類調査手法の標準化・一般化	2021	-	環境省	生物多様性センター	調査科	環境DNA分析、網羅的解析、両生類、希少種、絶滅危惧種	
森林生態系炭素収支モニタリング	2000	-	-	国立環境研究所	地球システム領域地球環境研究センター 陸域モニタリング推進室	二酸化炭素収支、バイオマス、フェノロジー、AsiaFlux、土壌呼吸、JaLTER（日本長期生態系研究ネットワーク）、気候変動、影響評価	http://db.cger.nies.go.jp/gem/warm/flux/

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
絶滅危惧生物の遺伝資源・細胞等の保存に関する活動		-	-	国立環境研究所	生物多様性領域 広報室	絶滅危惧、鳥類、哺乳類、魚類、藻類、凍結保存、細胞培養、検疫、感染症対策	http://www.nies.go.jp/biology/kiban/endangered_wildlife/index.html
生物資源の保存事業		-	-	国立環境研究所	生物多様性領域 広報室	絶滅危惧藻類、絶滅危惧野生動物	絶滅危惧野生動物の遺伝資源保存 http://www.nies.go.jp/biology/aboutus/facility/capsule.html
長期環境モニタリング		-	-	国立環境研究所	生物多様性領域 広報室	霞ヶ浦	https://db.cger.nies.go.jp/gem/inter/GEMS/database/kasumi/index.html
温暖化影響モニタリング（高山帯）	2011	-	-	国立環境研究所	生物多様性領域 生物多様性保全計画研究室	高山植物、森林限界、フェノロジー	http://db.cger.nies.go.jp/gem/ia/mountain/index.html
温暖化影響モニタリング（海洋）	2011	-	-	国立環境研究所	生物多様性領域	サンゴ	
福島県帰還困難区域内外における生態系長期モニタリング調査	2014	-	-	国立環境研究所	福島地域協働研究拠点 環境影響評価研究室	住民避難、ほ乳類、昆虫類、鳥類、分布調査、土地利用、耕作放棄、住民参加	http://www.nies.go.jp/biowm/contents/fukushima.php?lang=jp http://www.nies.go.jp/kikitori/
生態系機能・サービスの評価と持続的利用	2016	-	-	国立環境研究所	生物多様性領域 広報室	森里川海の連携、淡水性回遊魚類、生態系サービス	http://www.nies.go.jp/biology/research/sdprog.html
森林生態系における生物・環境モニタリング手法の活用	2022	2024	-	国立環境研究所	地球システム領域地球環境研究センター 陸域モニタリング推進室	森林衰退、大気汚染、気候変動、ブナ、全国調査、影響評価、モニタリング、生物多様性	
琵琶湖の水・湖底環境の健全性評価に関する調査研究	2021	2023		国立環境研究所	琵琶湖分室	湖沼、水環境、湖底環境、溶存有機物、リン、窒素、生物利用性、動態評価、底泥溶出	
在来魚の生息状況に関する調査研究	2021	2023		国立環境研究所	琵琶湖分室	琵琶湖、在来魚、産卵、回遊、生息環境	
標本資料に基づく実証的・継続的な基礎研究の推進		-	-	国立科学博物館	標本資料センター	生物多様性、生物多様性情報、データベース、標本	
環境ゲノム科学研究推進事業	2021	2025		国立環境研究所	環境ゲノム研究推進室	全ゲノム解析、DNAバーコーディング、環境DNA	https://www.nies.go.jp/genome/index.html
継続 エゾシカ総合対策に関する研究	2022	2026	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	エゾシカ、北海道エゾシカ対策推進条例、個体数指数、個体群管理、生息環境調査	
継続 劣化した湿原の保全対策に関する研究	2018	2022	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	雨竜沼湿原、モケウニ沼湿原、シカの食害、防鹿柵	
継続 劣化した原生花園の再生に関する研究	2020	2022	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	ベニヤ原生花園、石狩浜、シカ食害、ススキの分布拡大、再生試験	
継続 ヒグマの生息及びあつれき動向の把握に関する研究	2022	2026	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	ヒグマ、生息数指数、あつれき指数、捕獲個体試料分析、広域痕跡調査、問題個体モニタリング	
継続 札幌市内に出没するヒグマに関する研究	2017	2022	札幌市	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	ヒグマ、市街地及びその周辺、最小個体数、積丹・恵庭地域個体群	
継続 北海道希少野生動物種調査	2002	-	北海道	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	北海道生物多様性保全条例、条例指定植物、生育状況モニタリング	
継続 アライグマ捕獲事業分析等委託業務	2019	2022	北海道	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	捕獲効率、新型ワナ、捕獲季節	
継続 アライグマ根絶モデル実証事業分析等委託業務	2020	2022	北海道	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	南幌町、集中捕獲、箱ワナ、生息密度低下、捕獲努力量	
継続 気候変動が森林性大型動物（ツキノワグマとヒグマ）の土地利用に与える影響の評価	2018	2022	科研費等個人研究費	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	ロシア沿海地方、ヒグマ、ツキノワグマ、種間関係、森林被害	
継続 農村地域におけるアライグマ防除対策のための季節的な被害発生傾向に関する研究	2021	2023	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	アライグマ、被害対策手引き、新十津川、南幌町	
継続 標津町におけるエゾシカの被害と対策に関する研究	2021	2022		地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	エゾシカ、草地適用型囲いわな、牧草地	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html) をご覧下さい。

	課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
新規	人為攪乱はシカの森林動態への影響を促進・抑制するか？-大規模長期操作実験での検証	2021	2022	科研費等個人研究費	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	シカ、林床植物、機能形質データ、	
新規	温帯・亜寒帯地域における大型動物の種子散布機能の評価	2021	2024	科研費等個人研究費	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	エゾシカ、ヒグマ、種子散布、排泄種子	
新規	農地再生が困難な荒廃農地における生物多様性の現状と評価	2022	2024	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	荒廃農地、植物相調査、GIS、動物相調査	
継続	人とヒグマのあつれき軽減を目的とした侵入経路の特徴解明	2021	2023	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	ヒグマ、あつれき軽減、侵入経路	
新規	一時養鹿したエゾシカの肉質改善に関する研究	2022	2024	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	エゾシカ、ジビエ、囲いワナ	
新規	シカ肉の科学的根拠に基づく品質基準と適切な取り扱い手法の確立	2022	2024	科研費等個人研究費	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	シカ、ジビエ、肉質、取り扱い	
継続	ヒグマは農作物の恩恵を受けているのか？ヒグマの農作物利用と栄養状態に関する研究	2021	2022	科研費等個人研究費	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所	自然環境部 生物多様性保全グループ	ヒグマ、農作物利用、栄養状態	
	個体特性および個体群構造に基づいたイヌワシの保全に関する研究	2021	2023	岩手県	岩手県環境保健研究センター	地球科学部	繁殖成績、移動分散、絶滅危惧、遺伝的多様性	http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/shizen/inuwashi/top.htm
	岩手県における絶滅危惧植物を対象にした種の存続の技術開発に関する研究	2022	2026	岩手県	岩手県環境保健研究センター	地球科学部	希少植物、種の保存、地域資源としての活用	
	ツキノワグマの個体数推定精度の向上ならびに生息密度がツキノワグマの出没に及ぼす影響	2022	2026	岩手県	岩手県環境保健研究センター	地球科学部	ヘアトラップ、DNA、個体数推定、特定計画、バイズ	http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/shizen/mammal/top/mammal-top.html
	日光地域の自然総合学術調査	2013	2020	栃木県	栃木県立博物館	自然課	栃木県、日光市、両生類、爬虫類、昆虫、陸生貝類、貧毛類、維管束植物、菌類、蘚苔類、地衣類、変形菌類	
	栃木県版レッドリスト改訂事業に関する栃木県自然環境調査	2018	2022	栃木県	栃木県立博物館	自然課	栃木県、レッドデータブック、維管束植物、蘚苔類、藻類、地衣類、菌類、変形菌類、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、甲殻類、貝類、昆虫、土壌動物、地形・地質・植物群落	
	第Ⅲ期第1次総合調査（茨城県全域）	2018	2020	茨城県	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	資料課	茨城県、動物、植物、菌類、古生物、地質、岩石	
	哺乳類生息状況調査	2005	-	群馬県	・群馬県環境森林部自然環境課 ・群馬県立自然史博物館	群馬県立自然史博物館 学芸係	ツキノワグマ、シカ、サル、イノシシ、アライグマ、カモシカ	http://www.gmn.pref.gunma.jp/research/report_inve.html
	みなかみ町及び周辺地域学術調査	2017	2021	群馬県	群馬県立自然史博物館	学芸係	動物、植物、菌類、古生物、地質、岩石	
	ぐんま昆虫の森園内の昆虫相の調査	2022	-	群馬県	群馬県立ぐんま昆虫の森	昆虫企画係	ぐんま昆虫の森、里山環境、昆虫類、種構成、標本収集	
	埼玉県における野生動物植物の分布情報の収集・解析と保全管理策の検討	2019	2021	埼玉県	埼玉県環境科学国際センター	自然環境担当	生物多様性、希少種、外来種、鳥獣、分布調査	
	クビアカツヤカミキリ発見大調査	2018	-	埼玉県	埼玉県環境科学国際センター	自然環境担当	クビアカツヤカミキリ、特定外来生物、市民参加調査、分布拡大	https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html
	埼玉県の水田地帯における水生動物植物の生育状況に関する基礎的調査研究	2020	2022	埼玉県	埼玉県環境科学国際センター	自然環境担当	水田、水生昆虫、底生動物、水草、群集、一時的水域	
	生物多様性地理情報システムの管理・活用	2006	-	千葉県	千葉県生物多様性センター		生物分布情報、三次メッシュ、生物多様性評価、データベース	https://www.bdcchiba.jp/gis_index
	生命（いのち）のにぎわい調査団	2008	-	千葉県	千葉県生物多様性センター		生物多様性、市民参加型生きもの調査、生息報告、季節報告、ほ乳類、鳥類、両生類、植物	https://www.bdcchiba.jp/monitor-index
	地域研究課題：地球誌系	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉県、地質学、地形学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
	地域研究課題：生命誌系1	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉県、生物相、分類学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(<http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html>) をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
地域研究課題：生命誌系2	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉県、生態学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
生態園の生態系変遷に関する野鳥調査	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		生態園、生態系、野鳥	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
房総のヒメコマツの保全生態学的研究	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		房総、ヒメコマツ、保全	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
生態園の生態系変遷に関する研究	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		生態園、生態系	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
砂浜植物の保護増殖	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		砂浜植物、保護	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
千葉県における原生生物等の生息状況	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉、原生生物	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
千葉県の水辺環境にくらす昆虫類の分布特性	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉、水辺環境、昆虫相	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
東京湾岸域におけるウミネコの繁殖生態	2017	-	千葉県	千葉県立中央博物館		東京湾岸域、ウミネコ、繁殖	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
浦賀水道の海鳥相モニタリング	2017	-	千葉県	千葉県立中央博物館		浦賀水道、海鳥相、モニタリング	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
地域研究課題：人類誌系	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉県、歴史学、民俗学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=177
地域研究課題：博物館誌系	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉県、博物館学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=178
普遍研究課題：地球誌系	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		地質学、地形学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=178
普遍研究課題：生命誌系1	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		生物相、分類学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=178
地域研究課題：生命誌系2	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		生態学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=178
地域研究課題：人類誌系	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		歴史学、民俗学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=178
地域研究課題：博物館誌系	2007	-	千葉県	千葉県立中央博物館		博物館学	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=176
下総台地東部の自然	2020	-	千葉県	千葉県立中央博物館		千葉県、下総台地東部、生物相	http://www2.chiba-muse.or.jp/?page_id=176
古写真を用いた県内の景観変遷の解析	2020	-	千葉県	千葉県立中央博物館		古写真、絵はがき、千葉県、景観変遷	http://www.pref.saitama.lg.jp/cess/torikumi/kenkyukadai/h29/h29kadai-sizen1.html
全天球画像を活用した緑地の立体構造把握に関する研究	2017	2019	東京都	東京都環境科学研究所	環境資源研究科	緑評価 生体系評価 全天球画像 みどり率 植生調査	https://www.tokvokankyo.jp/kankyoken/
水源林の公益的機能の評価・検証と管理技術の改良	2002	-	神奈川県	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課	土砂流出、量水堤、森林整備、水源の森	
ブナ林再生事業の順応的推進手法の開発	2007	-	神奈川県	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課	丹沢、ブナ、衰退、オゾン、大気汚染、ブナハバチ	
スギ・ヒノキ花粉発生源調査	2009	-	神奈川県	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課	スギ、雄花、目視、飛散予測、花粉	
シカと森林の統合管理手法の開発	2012	-	神奈川県	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課	シカ、森林、個体数管理、捕獲	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
シカ密度低減下における生物多様性回復の評価手法の開発	2017	-	神奈川県	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課	シカ、森林、希少種、植生保護柵	
シカ捕獲支援技術の開発	2017	-	神奈川県	神奈川県自然環境保全センター	研究連携課	シカ、森林、希少種、植生保護柵	
生物多様性保全基盤整備事業	2016	-	神奈川県	神奈川県環境農政局	自然環境保全課	生物多様性、分布調査	
神奈川県レッドデータブック更新事業	2017	-	神奈川県	神奈川県環境農政局 神奈川県立生命の星・地球博物館	自然環境保全課	レッドデータブック、希少種、絶滅危惧種	
環境DNAを用いた丹沢山地におけるサンショウウオの分布調査手法の開発	2020	2021	神奈川県	神奈川県環境科学センター	調査研究部	環境DNA、ハコネサンショウウオ、ヒガシヒダサンショウウオ	
ミトコンドリアDNA領域に着目した環境DNAによる底生生物相把握手法の開発	2020	2021	神奈川県	神奈川県環境科学センター	調査研究部	環境DNA、底生動物、次世代シーケンサー	
環境DNAを用いた県内生物多様性調査手法の確立	2020	2021	神奈川県	神奈川県環境科学センター	調査研究部	環境DNA、魚類、次世代シーケンサー	
生物生息状況モニタリング（海域および河川生物相調査）	1973	-	神奈川県横浜市	横浜市環境創造局環境科学研究所		モニタリング 海域 河川	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/naivou/tayosei/forest.html
生物生息状況モニタリング（こども「いきいき」生き物調査）	2013	-	神奈川県横浜市	横浜市環境創造局環境科学研究所		モニタリング 小学生による生き物調査 調査票調査	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/kansoku/science/naivou/tayosei/ikiki.html
特別天然記念物カモシカ保護事業	1985	-	石川県	石川県白山自然保護センター	研究普及担当	ニホンカモシカ、保護	
人と野生鳥獣との共生推進事業費	2005	-	石川県	石川県白山自然保護センター	研究普及担当	ツキノワグマ・ニホンジカ・サルの生態・分布状況、クマエサ資源（ブナ、ミズナラ類豊凶予測）	
石川の種の保存事業	2008	-	石川県	石川県白山自然保護センター	研究普及担当	県指定野生植物種（オキナグサ・サドククルマユリ）	
重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (ヒノキ 計1000)高山帯調査事業費	2009	-	石川県	石川県白山自然保護センター	研究普及担当	高山帯、永久方形区での植生調査、温度測定、ハイマツ成長量調査、開花状況調査、チョウ類調査、地表徘徊性昆虫調査	
大型獣対策事業（ツキノワグマ等人身被害防止対策事業－里山クマ対策事業）	2013	-	石川県	石川県白山自然保護センター	研究普及担当	ツキノワグマ、大量出没、里山	
大型獣対策事業（ニホンジカ被害防未然防止対策推進事業）	2014	-	石川県	石川県白山自然保護センター	研究普及担当	ニホンジカ、糞塊密度調査、生息環境調査、出猟カレンダー調査	
ニホンジカ捕獲促進事業	2018	-	石川県	石川県白山自然保護センター	研究普及担当	ニホンジカ、自動撮影カメラ調査	
九十九湾周辺における気象と水質	1994	-	石川県	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課	石川県、九十九湾、気象・水質、定期観測	
砂浜海岸モニタリング調査	1999	-	石川県	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課	石川県、海岸改変、波打ち帯、砂粒度	
砂浜海岸の底生動物モニタリング調査	2007	-	石川県	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課	石川県、波打ち帯、底生動物、生息状況	
岩礁海岸モニタリング調査	2008	-	石川県	石川県のと海洋ふれあいセンター	普及課	石川県、海岸改変、潮間帯、動植物、生息状況	
石川県立自然史資料館周辺自然史総合調査	2008	-	石川県	石川県立自然史資料館	館長	エコミュージアム、植物相、植生相、動物相、気候、地質、人間活動	
石川県立自然史資料館長中期調査研究計画策定事業	2009	-	石川県	石川県立自然史資料館	館長	自然史GIS、植物相、動物相、生活環、植生相、地理分布、気候、地質	
石川県立自然史資料館標本等収集整理事業	2009	-	石川県	石川県立自然史資料館	植物、動物、各領域責任者	標本収集、標本整理、データベース作成運用	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
鳥類生息調査事業：ガンカモ科鳥類生息調査	1973	-	福井県	福井県自然保護センター		鳥獣保護区、渡り鳥、モニタリング、ガンカモ類、個体数調査	
鳥類生息調査事業：渡り鳥保全調査	1980	-	福井県	福井県自然保護センター		鳥獣保護区、渡り鳥、モニタリング、個体数調査	
野生生物同定調査事業：自然観察の森周辺環境調査	1990	-	福井県	福井県自然保護センター		植生、鳥類、昆虫類、哺乳類、生物多様性	
鳥類生息調査事業：カワウ生息調査	2007	-	福井県	福井県自然保護センター		カワウ、モニタリング、個体数調査	
ブナ科樹木の豊凶モニタリング調査	2008	-	福井県	福井県自然保護センター		ツキノワグマ、ブナ科、堅果、豊凶	
外来魚防除対策事業：ため池での外来魚防除指導・支援	2008	-	福井県	福井県自然保護センター		里地里山、ブラックバス、ブルーギル、ため池、普及啓発	
生き物百葉箱推進事業	2009	-	福井県	福井県自然保護センター		自然再生、環境教育、モニタリング	
レッドデータブック改訂事業	2012	-	福井県	福井県自然保護センター		レッドデータブック、絶滅危惧種、希少種	
岩礁海岸モニタリング調査	2004	-	福井県	福井県海浜自然センター		福井県、世久見湾、動植物	
三方湖周辺のふゆみずたんばに飛来するハクチョウ類調査	2006	-	福井県	福井県海浜自然センター		三方湖、ふゆみずたんば、ハクチョウ	
外来魚防除対策事業：ため池での外来魚防除指導・支援	2008	-	福井県	福井県海浜自然センター		里地里山、ブラックバス、ブルーギル、ため池、普及啓発	
三方湖周辺の外来生物に関するモニタリング	2015	-	福井県	福井県海浜自然センター		三方湖、外来生物、駆除	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h29/2017103.pdf
富士山森林限界における植生の地理的分布に関する研究	2016	2020	山梨県	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部	富士山、森林限界、高山帯、植生、モニタリング	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h29/2017206.pdf
広域的昆虫・クモ相調査による富士山の自然生態系の保全生態学的研究	2016	2018	山梨県	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部	生物多様性保全、チョウ、地表性昆虫、地表性クモ類、飛翔昆虫、富士北麓	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h29/2017301.pdf
富士五湖(特に河口湖)の水質浄化に関する研究II-ヘドロの堆積状況の面的把握-	2016	2018	山梨県	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部	富士山、富士五湖、河口湖、湖底堆積物、底質	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h29/2017102.pdf
富士北麓における地下水涵養機構と深部地下水流動系の解明	2016	2018	山梨県	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部	富士山、地下水、水文学、モニタリング	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h29/2017211.pdf
大面積方形区を用いた青木ヶ原樹海の森林構造の解明に関する研究	2017	2020	山梨県	山梨県富士山科学研究所	環境教育・交流部	富士山、青木ヶ原、植生動態	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h30/2018302.pdf
山中湖の底質環境の現状把握：水質浄化のための基礎的研究	2018	2020	山梨県	山梨県富士山科学研究所	火山防災研究部	富士山、富士五湖、山中湖、湖底堆積物、底質	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h30/2018209.pdf
富士北麓における草食獣3種の種間関係および行動特性	2018	2020	山梨県	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部	ニホンカモシカ、ニホンジカ、ニホンノウサギ、食性、生息地利用、多種共存機構、社会生態	http://www.mfri.pref.vamanashi.jp/res/theme/h30/2018208.pdf
富士山自然生態系モニタリングにおける衛星データ活用に関する研究	2018	2020	山梨県	山梨県富士山科学研究所	自然環境研究部	富士山、衛星データ、土地被覆情報	
県内のスギ、ヒノキ花粉の飛散状況に関する調査	1988	-	山梨県	山梨県衛生環境研究所	微生物部	定点観測、スギ花粉、ヒノキ花粉、飛散数の観測、来シーズンの飛散数予測、ダーラム型花粉捕集器	
県内「名水」の水生生物による水質評価とその効果的発信	2022	2023	山梨県	山梨県衛生環境研究所	環境科学部	山梨県、底生動物、環境評価、河川、湧水、名水百選、情報発信	
気候変動適応に必要な基盤情報の整備と情報発信	2020	2024	長野県	長野県環境保全研究所	自然環境部	気候変動情報、適応策、モニタリングネットワーク、情報発信、情報デザイン	https://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/taisaku/tekiousaku.html https://lccac-shinshu.org/about/

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
信州の生物多様性の保全および自然資源の価値共有手法の開発	2017	2021	長野県	長野県環境保全研究所	自然環境部	地域資源、生物多様性、保全、利用、普及啓発、絶滅危惧種、長野県	https://nature-nagano.com/
侵略的外来種への新たな対策技術に関する調査研究	2020	2022	長野県	長野県環境保全研究所	自然環境部	外来生物、特定外来生物、モニタリング、防除技術、長野県	https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/chosa/kenkyu/gairai/index.html
高山生態系モニタリングに関する調査研究	2019	2021	長野県	長野県環境保全研究所	自然環境部	高山帯、永久方形区での植生調査、気象観測、インターバル撮影、ライチョウ調査、開花状況調査、チョウ類調査	https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/iirvo/gvomu/shizen.html
野生鳥獣の保護管理にむけた生態及び被害対策に関する調査研究	2019	2023	長野県	長野県環境保全研究所	自然環境部	野生動物保護管理、ニホンジカ、ツキノワグマ、イノシシ、カモシカ、ニホンザル、アオサギ、カワウ、カワアイサ	https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/iirvo/gvomu/shizen.html
長野県内の湖沼とその集水域における土壌環境の中長期的保全・管理に向けた調査研究	2020	2022	長野県	長野県環境保全研究所	自然環境部	諏訪湖、諏訪湖集水域、湖底堆積物、土壌、温暖化、中長期変動、生物一次生産性、地質、地形、長野県	https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/iirvo/gvomu/shizen.html
情報デザインによる地域自然環境の学びの場の共創	2021	2022	長野県	長野県環境保全研究所	自然環境部	グローバル、信州の生物多様性、地域の気候変動の影響・緩和と適応、情報発信、展示、情報デザイン、学び、行動変容	https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/iirvo/gvomu/shizen.html
高山帯希少種の生息環境把握	2019	2022	静岡県	静岡県環境衛生科学研究所	環境科学部	気候変動適応、モニタリング、高山植物	
外来不快害虫ヤンバルトサカヤスデの分布・生態特性の解明	2009	2022	静岡県	静岡県環境衛生科学研究所	環境科学部	外来生物、ヤンバルトサカヤスデ、生態、生活史	
静岡県を中心とした地域の生物多様性に関する調査・研究	2016	-	静岡県	ふじのくに地球環境史ミュージアム	学芸課	生物多様性、生物相、ファウナ、フロラ、インベントリー、生態系、モニタリング、静岡県	https://www.fujimu100.jp/
愛知県鳥類生息調査	2010	-	愛知県	愛知県環境調査センター	企画情報部	鳥類、定点調査、個体数調査	
ガンカモ類生息調査	2010	-	愛知県	愛知県環境調査センター	企画情報部	ガンカモ類、個体数調査	
愛知県絶滅危惧種等フォローアップ調査	2014	-	愛知県	愛知県環境調査センター	企画情報部	絶滅危惧種、分布調査、レッドデータブック	
海上の森自然環境保全地域における希少種の保全についての研究	2017	-	愛知県	愛知県環境調査センター	企画情報部	絶滅危惧種、東海丘陵要素、湿地、シデコブシ	
外来アリの生息状況モニタリング調査及び防除効果の検証	2022	-	愛知県	愛知県環境調査センター	企画情報部	アルゼンチンアリ、外来種	
市内河川等生物調査	1981(隔年)	-	愛知県名古屋市	名古屋市環境科学調査センター	環境科学室	河川、ため池、底生生物、魚類、付着藻類	
遺伝子技術を用いた生物相調査についての研究	2020	-	愛知県名古屋市	名古屋市環境科学調査センター	環境科学室	環境DNA、淡水魚類、底生動物、希少種	
市民協働による都市部における生物多様性の保全と外来種対策	2011	-	愛知県名古屋市	名古屋市環境局なごや生物多様性センター		生物多様性、保全、外来種、市民協働、市民参加、都市部、池干し、データベース、一斉調査、名古屋市、なごや、なごや生物多様性保全活動協議会	https://ikimono.city.nagoya.jp/ https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000066409.html
動植物実態調査	2000	-	愛知県名古屋市	名古屋市環境局なごや生物多様性センター		レッドリスト、レッドデータブック、希少野生動物種、絶滅危惧種、名古屋市	http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-5-22-2-3-0-0-0-0-0.html
プランクトン調査	1979	-	滋賀県	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	環境監視部門 生物圏係	琵琶湖、瀬田川、植物プランクトン、動物プランクトン	https://www.lberi.jp
生物多様性保全・再生に関する研究	2020	-	滋賀県	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	総合解析部門	生物多様性、主流化、保全、行政、滋賀県、琵琶湖、固有種、希少種、外来種、市民参加型生きもの調査、いきものログ	https://www.lberi.jp https://www.lberi.jp/JOIN/ikimono
「田んぼのいきもの全種リスト」の増補更新と公開システムの構築	2017	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	田んぼ、生物リスト	
過去150年間の琵琶湖とその集水域の環境変遷の解明	2019	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	琵琶湖、集水域、環境変遷	
琵琶湖南湖堆積物からみた過去2000年間の古植生解析	2018	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	湖底堆積物、古植生解析	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(<http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html>) をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
幼児の博物館体験と野外体験の効果	2018	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	幼児向けプログラム、野外体験	
フナズシの歴史的位置付けについての研究－「古フナズシ」の復元実験－	2019	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	固有魚種、琵琶湖、食文化、歴史	
バイカル湖堆積物研究成果の集約・管理・公開へ向けた総合研究-バイカル資料・研究発信センターを目指して-	2019	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	バイカル湖、湖底堆積物、情報公開・発信	
近江の森と人の関係史－人は森をどう利用してきたのか	2019	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	滋賀県、森林、環境利用、歴史	
淡水クラゲ類の性決定の要因を探る	2019	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	淡水クラゲ、性決定	
希少種の健全性評価に基づく保全に関する研究：生物多様性モニタリングと域外保全によるリスク分散-	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	希少種保全、生物多様性、モニタリング、域外保全	
地域の自然史情報の価値づけと集約の場としての博物館の機能	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	自然史情報、情報集約。博物館機能	
琵琶湖博物館所蔵魚類液浸標本の新しい活用研究と管理手法の構築	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	魚類液浸標本、活用・管理手法	
侵略的外来種対策を推進するための対策検証と現状把握に関する研究	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	侵略的外来種、対策、現状把握	
関東平野西縁地域における鮮新～更新世の湿地林の植生復元	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	鮮新～更新世、湿地林、植生復元	
針葉樹トウヒ属の葉化石の分類	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	トウヒ属、化石、分類	
滋賀県における鳥類生息情報の持続可能な収集・整理・蓄積手法の検討	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	鳥類、生息情報	
甲賀層・蒲生層の境界付近の水系変化の検討	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	甲賀層、蒲生層、水系変化	
地域環境史の理論的構築	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	地域環境史	
湧水の利用と保全	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	湧水	
福島県における遺跡花粉分析データの時空間解析と滋賀県との比較研究	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	遺跡花粉	
漁業組合文書による近代琵琶湖漁撈史の研究	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	漁業組合、近代漁撈、琵琶湖	
農業体験や農業用水路を活用した環境学習が児童の意識に与える影響について	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	農業用水路、環境学習	
愛知川における土砂管理手法に関する基礎的研究	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	土砂管理、河川	
滋賀県産魚類の河川間での遺伝的差異	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	魚類、遺伝的差異、河川	
南湖志那沖の湖底地形の把握	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	湖底地形、水生植物	
滋賀県多賀町の古琵琶湖層群から産出した昆虫化石	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	古琵琶湖層群、昆虫化石	
希少淡水魚の人為的雄性発生	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	希少淡水魚、人為的雄性発生	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(<http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html>) をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
生物多様性の保全に関する基礎的研究	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	生物多様性保全	
イバラモ群落の成立環境とフェノロジーに関する研究	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	水生植物、群落、フェノロジー	
水生双翅目昆虫アシナガバエ科の分類学的研究	2017	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	水生昆虫、分類	
東アジアのカイミジンコデータベースの拡大	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	カイミジンコ、東アジア	
耳石を用いた魚類の生態解析	2017	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	魚類生態、耳石	
滋賀県における水田利用魚類のリスト化とその活用	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	水田利用魚類	
森林環境学習「やまのこ」事業のプログラム評価について	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	森林、環境学習、プログラム	
琵琶湖周辺に生息するイタチムシ類	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	イタチムシ	
ディーブラーニングとMT法による珪藻同定システム構築に向けた研究	2020	-	滋賀県	滋賀県立琵琶湖博物館	研究部	珪藻、同定システム、ディーブラーニング	
希少魚の保護増殖試験	1990	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	イタセンバラ、ニッポンバラタナゴ、系統保存、生息域外保全、魚類生息状況調査	http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/files/00128445/14_osakagyoruisou.pdf
大阪府内の河川における魚類資源保全対策事業	2000	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	希少魚生息調査、ダム、モニタリング、環境DNA	http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/files/00128483/17_aigawadam.pdf http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/files/00128476/16_gyogyoken.pdf
淡水生物増殖試験	2003	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	水生植物、二枚貝、水生昆虫、保全、市民協働	
淀川における外来水生生物の生態調査研究	2004	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	淀川、外来魚、外来水生植物、外来哺乳類、防除	
淀川流域の希少在来魚の保護に関する調査研究	2008	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	淀川、イタセンバラ、二枚貝、野生復帰、生息域内保全、市民協働	http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/files/00128469/01-11_itsenpara.pdf
生物多様性分野の環境教育における研究成果・施設の活用および研修プログラムの開発	2013	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	地域の生物多様性、研修プログラム作成、生物多様性研修プログラム、連携	http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/files/00128568/19_seibutavosei.pdf
(大阪湾)生物モニタリング調査	1990	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	水産技術センター	藻場、底生動物、底質	
野生鳥獣被害対策調査	2002	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	狩猟者目撃効率、狩猟者捕獲効率、シカ糞密度、下層植生衰退度、出没頻度、農業被害強度、効果的防除法	
アライグマモニタリング調査	2013	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	捕獲時計測データ、繁殖状況、出没頻度、被害強度、防護柵設置状況、炭素・窒素安定同位体比分析、食性分析	
農作物を加害するヌートリアの生息状況把握とモニタリング	2018	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	出没頻度、被害強度、防護柵設置状況	
ツヤカミキリの防除法の開発	2018	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	食と農の研究部防除グループ 生物多様性センター	被害地、防除方法	
和泉葛城山ブナ林種子調査(種子生産量の経年変化)	2019	-	大阪府	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	生物多様性センター	種子生産、保護増殖	
地形・地質・化石等を軸とした学習コンテンツの探索とその活用に関する研究	2010	-	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室	地形、地質、化石、丹波竜、学習コンテンツ	http://www.hitohaku.jp/
兵庫県の動植物相の解明	2010	-	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室	兵庫県、動物、植物、標本収集	http://www.hitohaku.jp/

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(<http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html>)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
生態学的にみた共生の現実と未来	2010	-	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室	鳥類、魚類、水生昆虫、生物多様性保全	http://www.hitohaku.jp/
生物多様性保全のための都市林および里山林の生態学的研究	2010	-	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室	都市林、里山林、自然再生、市民参加	http://www.hitohaku.jp/
古写真とその記憶等の収集による地域景観の評価に関する研究	2010	-	兵庫県	兵庫県立人と自然の博物館	シンクタンク推進室	古写真、地域景観、環境計画、地域づくり	
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (1)基礎データの収集と整理	1999	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	野生動物分布、被害状況、アンケート調査、捕獲状況調査、豊凶状況調査、感染症サーベイランス、希少種保全	
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (2)ニホンジカの順応的管理体制の構築	1999	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	個体数推定、糞塊密度調査、個体分析、被害対策手法、捕獲手法、効率化	
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (3)イノシシの被害対策と適正管理	2007	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	個体分析、個体数推定、個体群動態・被害動態予測、捕獲手法、効率化	
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (4)ニホンザルに対する総合的被害管理手法の開発	2004	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	個体数調査、生息実態調査、集落出没抑制手法、DNA分析、餌付け個体群	
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (5)ツキノワグマの出没危機管理体制の構築	2007	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	個体数推定、出没対策、誘引物除去、DNA分析、学習放獣効果検証	
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (6)外来生物対策	2003	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	アライグマ、ヌートリア、生息・被害動向、繁殖状況、捕獲手法	
農林業や生活への被害の大きな野生動物の保全管理のための研究 (7)共通項目	2007	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	感染症防止対策マニュアル、野生動物資源有効活用、効率の処分	http://www.wmi-hvogo.jp/
人と野生動物の共生を実現するための森林の整備と管理に関する研究	2005	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	ニホンジカ、森林衰退状況、不嗜好性植物、森林更新、森林機能保全、生物多様性、獣害防除	http://www.wmi-hvogo.jp/
獣害に強い集落づくり支援に関する研究	2007	-	兵庫県	兵庫県森林動物研究センター	研究部	被害状況調査、獣害対策、野生動物監視員、社会学	
水環境における生物多様性の保全と再生に関する研究	2019	2021	鳥取県	鳥取県衛生環境研究所	水環境対策チーム	希少種保全、水生動植物、汽水湖、普及啓発	https://www.pref.tottori.lg.jp/144171.htm
ふれあいの里における希少鳥類の生息調査	2015	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	希少鳥類、繁殖	
レッドデータブック掲載種の現況調査	2015	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	レッドデータブック、哺乳類、鳥類、昆虫類、植物	
外来生物の現況調査	2015	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	外来生物、哺乳類、鳥類、昆虫類、植物	
自然環境保全地域など動植物調査	2015	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	自然環境保全地域、赤名湿地、隠岐コネスコ世界ジオパーク	
草原性希少植物の保全と管理に関する研究	2015	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	草原性植物、絶滅危惧種、草原管理	
三瓶山周辺繁殖鳥類の渡り調査	2015	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	鳥類、三瓶山、ミヤマホオジロ、ヤイロチョウ、カラアカハラ	
三瓶山の昆虫相に関する調査	2015	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	昆虫相、三瓶山	
コウノトリの生息をテーマとした環境教育プログラムの開発	2018	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	コウノトリ、環境教育	
テングコウモリの繁殖生態調査	2019	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	テングコウモリ、洞窟	
タンポポ調査・西日本2020	2019	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	外来タンポポ、在来タンポポ、市民参加調査	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(<http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html>)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
県内未確認コウモリ類の生息調査	2020	-	島根県	島根県立三瓶自然館（公益財団法人しまね自然と環境財団）	学芸課	オヒキコウモリ、ヤマコウモリ、モリアブラコウモリ	
湿原保全活動	2004	-	岡山県	岡山県自然保護センター		湿原、再生、動植物の保護活動	
フサヒゲルリカミキリ調査	2004	-	岡山県	岡山県自然保護センター		採草地、希少動植物、生活史	
ブナ調査	2005	-	岡山県	岡山県自然保護センター		ブナ林、毎木調査、実生、更新、モニタリング	
堅果類豊凶調査	2011	-	岡山県	岡山県自然保護センター		ブナ、ミズナラ、コナラ、豊凶	
里海里湖流域圏が形成する生態系機能・サービスとその環境価値に関する研究（II型）	2021	2023	山口県	山口県環境保健センター	環境科学部	干潟、瀬戸内海、里海、アサリ、順応的管理	
被覆網によるアサリ育成手法の応用に関する研究	2020	2022	山口県	山口県環境保健センター	環境科学部	干潟、瀬戸内海、里海、アサリ、藻類、被覆網	
徳島県の自然史研究	1990	-	徳島県	徳島県立博物館	自然課	動物、植物、地学	
徳島県のタンポポの分布調査	2008	-	徳島県	徳島県立博物館	自然課	在来種、外来種、都市化、市民参加調査	
徳島県希少野生生物生息状況調査	2008	-	徳島県	徳島県立博物館	自然課	オヤニラミ、オオウナギ、カワバタモロコ、絶滅危惧種	
外来昆虫の分布拡大に関する調査	2010	-	徳島県	徳島県立博物館	自然課	半翅類、四国、分布拡大経路	
自然に興味を持ってもらうためのツールの開発	2021	-	徳島県	徳島県立博物館	自然課	輝く生きもの、紫外線	
徳島県の絶滅危惧植物の保護に関する調査	2008	-	徳島県	徳島県立博物館	自然課	ワタヨモギ、フジバアカマ、シバナ、タコノアシ、モニタリング、分布、保護	
ニッポンバラタナゴの保護	2005	-	香川県	香川県みどり保全課及び香川県環境保健研究センター	自然環境	ニッポンバラタナゴ、遺伝子解析、亜種判別	
カンカケイニラの保護増殖	2007	-	香川県	香川県みどり保全課及び香川県環境保健研究センター	自然環境	カンカケイニラ、人工増殖栽培試験	
モニタリングサイト1000里地調査	2008	-	愛媛県	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター	里地里山、水環境、モニタリング	
有機栽培圃場の生物多様性調査	2009	-	愛媛県	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター	水稲、有機農業、水生生物、個体数調査、モニタリング	
カミツキガメ捕獲調査	2018	-	愛媛県・今治市	愛媛県立衛生環境研究所 今治市、とべ動物園	生物多様性センター	特定外来生物	
セアカゴケグモモニタリング調査	2019	-	愛媛県・松山市・新居浜市	愛媛県立衛生環境研究所 松山市、新居浜市	生物多様性センター	特定外来生物	
水田域のカエル類分布調査	2020	2021	愛媛県	愛媛県立衛生環境研究所	生物多様性センター	レッドデータブック、レッドリスト、水田、カエル	
ため池の減水管理がオオキトンボの幼虫の発生に与える影響	2017	2020	NPO森からつづく道	愛媛県立衛生環境研究所ほか	生物多様性センター	絶滅危惧種、オオキトンボ、アカネ類	
希少野生動植物の保全	2006	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	レッドリスト、レッドデータブック、絶滅危惧種、	
愛媛県内におけるニホンカワウソに関する情報の収集	2015	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	ニホンカワウソ、絶滅危惧種、分布記録	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(<http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html>) をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
四国の藻類・菌類相と利用に関する研究	2016	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	藻類、菌類、伝統的知識、利用慣行	
愛媛県の植物相	2001	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、植物相	
愛媛県の藻類相	2001	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、藻類相	
愛媛県の菌類相	2001	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、菌類相	
愛媛県におけるアサギマダラの移動に関する記録の収集	2003	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、アサギマダラ、移動、マーキング	
愛媛県の地衣類相	2004	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、地衣類相	
新居浜市郊外里地里山環境の生物相	2015	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	里地里山、生物相、フェノロジー	
愛媛県内の学校に保管されている生物標本の所在調査	2016	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、学校、標本、生物相	
愛媛県沿岸海域および四国沖積層の介形虫群集	1995	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県沿岸域、四国沖積層、介形虫群集	
愛媛県におけるストランディングレコードの整理	2016	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、ストランディング、大型海棲動物	
愛媛県における大型鯰脚類の分布	2017	-	愛媛県	愛媛県総合科学博物館	学芸課自然研究グループ	愛媛県、大型鯰脚類、分布記録	
英彦山における森林生態系回復手法に関する研究	2019	2021	福岡県	福岡県保健環境研究所	環境生物課	ブナ林生態系、生物多様性、シカ防護柵、植生回復、手法開発	
里山の保全・再生に及ぼす野生動物の影響	2020	2022	福岡県	福岡県保健環境研究所	環境生物課	里山、生物多様性、生態系管理、野生動物、排除柵	
環境DNAを用いた侵略的外来種検出法に関する研究	2020	2022	福岡県	福岡県保健環境研究所	環境生物課	侵略的外来種、環境DNA、外来種対策、生物多様性保全、防除手法	
底生生物調査	1992	-	福岡県福岡市	福岡市保健環境研究所	環境科学課	底生動物、環境評価、福岡市内の河川	
環境DNA技術を用いた魚類モニタリング調査の検討	2021	-	福岡県福岡市	福岡市保健環境研究所	環境科学課	環境DNA、魚類、モニタリング	
大村湾沿岸域の生き物調査	2019	-	長崎県	長崎県環境保健研究センター	地域環境科	生物多様性、底生生物、生息状況	
大村湾浅場を活用した体験学習	2019	-	長崎県	長崎県環境保健研究センター	地域環境科	陶磁器くず、ガラス砂、覆砂、アサリ、環境学習	
大村湾環境総合対策事業 人工砂による浅場造成事業関係調査	2014	-	長崎県	長崎県環境保健研究センター	地域環境科	陶磁器くず、ガラス砂、覆砂、アサリ	
藻場におけるブルーカーボンに関する研究	2021	-	長崎県	長崎県環境保健研究センター	地域環境科	藻場、ブルーカーボン	
水系別総合調査（動物） 小丸川水系の動物相について	2015	2018	宮崎県	宮崎県総合博物館	学芸課	動物、生息状況、分布調査	
水系別総合調査（植物） 小丸川水系の植物相について	2015	2018	宮崎県	宮崎県総合博物館	学芸課	維管束植物、悉皆調査、標本収集	
水系別総合調査（地質） 小丸川流域の鉱山について	2015	2018	宮崎県	宮崎県総合博物館	学芸課	鉱山	

令和4（2022）年度 NORNAC参加機関の調査研究課題（テーマ）一覧

(2022/11/22時点)

※各構成機関へのご連絡は、NORNACウェブサイト「NORNAC構成機関一覧」(<http://www.biodic.go.jp/relatedinst/kouseikikan.html>)をご覧ください。

課題（テーマ）名	開始年度 (西暦)	終了予定年度 (西暦)	実施主体	構成機関名 (実施機関)	担当部署	キーワード	参考URL
オオトラツグミ保護増殖事業	1999	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター	オオトラツグミ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、餌生物、生息適地推定	
アマミヤマシギ保護増殖事業	1999	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター	アマミヤマシギ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、交通事故、ラジオテレメトリー	
アマミノクロウサギ保護増殖事業	2004	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター	アマミノクロウサギ、生息環境、個体数、モニタリング、外来種対策、交通事故、自動撮影カメラ	
奄美大島におけるマングース防除事業	2000	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	環境省奄美野生生物保護センター	マングース、特定外来生物、防除事業	
ノグチゲラ保護増殖事業	1998	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター	ノグチゲラ、屋内希少種、保護増殖事業、プレイバック調査、生息状況	
ヤンバルテナガコガネ保護増殖事業	2004	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター	ヤンバルテナガコガネ、国内希少種、保護増殖事業、生態、生息状況	
沖縄島北部地域におけるマングース防除事業	2001	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター	マングース、特定外来生物、防除事業	
特定外来植物対策	2016	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター	ツルヒヨドリ、ボタンウキクサ、ナガエツルノゲイトウ、特定外来生物、防除	
国指定屋我地鳥獣保護区アジサシ調査	2006	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター	ベニアジサシ、エリグロアジサシ、飛来数、営巣数、屋我地鳥獣保護区	
ヤンバルクイナ保護増殖事業	2004	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	やんばる野生生物保護センター	ヤンバルクイナ、国内希少種、保護増殖事業、生息状況、飼育下繁殖、野生復帰、モニタリング	
イリオモテヤマネコ保護増殖事業	1995	-	環境省	沖縄奄美自然環境事務所	西表野生生物保護センター	イリオモテヤマネコ、生息環境、個体数、モニタリング、交通事故、自動撮影カメラ	
ツシマヤマネコ保護増殖事業	1995	-	環境省	九州地方環境事務所	対馬野生生物保護センター	ツシマヤマネコ、生息域外保全、野生復帰、モニタリング、交通事故、ノネコ	